

# 板書例

ようすを考えて読もう  
お手紙

アーノルドローベル さく・絵  
みき たく やく

**めあて** 手紙をまっているかえるくんとかえりくんのようすを読みとろう。

**すすめかた** 音読 ↓ 話し合い ↓ ぶりかえり

第4場面の絵

- ・うれしそう
- ・かたを組んでなかよし
- ・二人とも笑顔
- ・目がいきいきとしている
- ・しあわせそう

ふたりとも、とても しあわせな気持ちで、そこにすわっていました。

第1場面の絵

がまくんの顔

かえるくんの顔

長いこと まっていました

手紙を書いてくれてありがとう。ぼくもきみのこと「親友」だと思っているよ。

早くきみにお手紙を読んでもらいたいよ。今まで手紙を書かなくてごめんよ。

かえるくんがお手紙を書いたから。  
「お手紙に「親友」と書いてもらったから。「親あいなる」

がまくんが手紙をまつと言ってくれたから。  
「とてもいいお手紙だ。」と言ってくれたから。  
がまくんがえりくんの顔になったから。

がまくんとかえるくんがお手紙をまっている絵

手紙  
かたつむりくん

## 板書のポイント

- 単元を通して、がまくん（茶色）、かえるくん（緑色）かたつむりくん（黄色）と色分けし、吹き出しなどに生かす。また、教科書の会話文の文頭にも同じ色のシールを使って主語をはっきりさせる。
- 第4場面と第1場面の挿絵の並べ方は時間の経過に合わせ、第4場面に注目させる置き方にする。
- かたつむりくんを手紙とともに登場させ、最後の手紙が届く場面のときに実際に動かし児童の関心を引き付ける。

HOME

単元の流れへ

本時の流れへ